

「ペトロの最高法院での証言 1」

2016年03月04日

使徒言行録 4章5節～13節。次の日、議員、長老、律法学者たちがエルサレムに集まった。大祭司アンナスとカイアファとヨハネとアレクサンドロと大祭司一族が集まった。そして、使徒たちを真ん中に立たせて、「お前たちは何の権威によって、だれの名によってああいうことをしたのか」と尋問した。そのとき、ペトロは聖霊に満たされて言った。「民の議員、また長老の方々、今日わたしたちが取り調べを受けているのは、病人に対する善い行いと、その人が何によっていやされたかということについてであるならば、あなたがたもイスラエルの民全体も知っていただきたい。この人が良くなって、皆さんの前に立っているのは、あなたがたが十字架につけて殺し、神が死者の中から復活させられたあのナザレの人、イエス・キリストの名によるものです。この方こそ、／『あなたがた家を建てる者に捨てられたが、／隅の親石となった石』／です。ほかのだれによっても、救いは得られません。わたしたちが救われるべき名は、天下にこの名のほか、人間には与えられていないのです。」議員や他の者たちは、ペトロとヨハネの大胆な態度を見、しかも二人が無学な普通の人であることを知って驚き、また、イエスと一緒にいた者であるということも分かった。

ペトロとヨハネは投獄された。翌日、最高法院が開かれ、議員、長老、律法学者たちが集まった。当然、大祭司カイアファ、陰の実力者であったアンナス、ヨハネ、アレクサンドロなどの大祭司一族も顔を揃えた。最高法院はイスラエルで最も権威ある、恐ろしい議会である。ペトロとヨハネを真ん中に立たせ、「お前たちは何の権威によって、だれの名によってああいうことをしたのか」と尋問した。ペトロは、主イエスが聖霊によって話すべき言葉を授けると言われたように、聖霊に満たされて証言し始めた。「民の議員、また長老の方々、今日わたしたちが取り調べを受けているのは、病人に対する善い行いと、その人が何によっていやされたかということについてであるならば、あなたがたもイスラエルの民全体も知っていただきたい。」証言する時を待っていましたと言わんばかりである。生まれながら足の不自由な人が癒され、ここに立っているのは、「あなたがたが十字架につけて殺し、神が死者の中から復活させられたあのナザレの人、イエス・キリストの名によるものです。」主イエスは、あなた方宗教の専門家が不要として、十字架で捨て去ったが、隅の親石として復活された。救いは、主イエスから来る。救われるべき名は、天下に主イエスの名の他にない。ペトロは復活した主イエスの名が全ての人に救いをもたらすと証言している。威厳と家柄と財力を誇る最高法院の議員たちを圧倒する証言である。彼らはペトロの堂々とした態度を見、力強い証言を聞き、ペトロがガリラヤの無学な普通の人であることを知って驚いた。ペトロ自身も驚いたのではないか。

福音書に記された使徒たちは主イエスに対し熱心ではあったが、主イエスが神殿衛士に捕縛された時、蜘蛛の子を散らすように逃げ去った。ペトロは、お前はイエスの仲間だと名ざしされた時、知らない、関係ないと三度も否んだ。最高法院で証言するペトロは福音書に記されたペトロとは天と地ほどの違いがある。復活した主イエスが共にいてくださるという喜びと確信、自分の生と死は神の御手の中にある、何者も恐れることはないという信仰が生き生きと表されている。主イエスの復活がペトロを生まれ変わらせたのである。私たちも、信仰において生まれ変わりが約束されている。